

長崎 検定

一級 さん

Vol.37

きっかけは、「まちあるき」 「長崎検定」合格への道のり、 久松健太郎さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。

その卓越した識見には、なにやら一言ありそうです。

ざっくばらんに寄稿願いました。

生まれも育ちも長崎市で、現在は佐世保市に住んでいる私が、「長崎検定」の勉強を始めることになった最大のきっかけ、それは、長崎へ用事のた

た結果は、努力が実り両方とも合格することができました。

め帰ることになった際、「せっかく長崎へ来たのだから」と訪れたことがない地元長崎の観光地を巡ってみようと思ったことでした。足を運んだのは、崇福寺、興福寺、風頭公園、そして大浦天主堂など・・・その時訪れた場所で私が最も驚いたのは、大浦天主堂でした。この場所で、「信徒発見」と呼ばれる奇跡的な出来事があったということ

これです。これで1級受験が可能になり、勢いに乗って1級合格を目指すつもりが過去問を目にして呆然。本番さながらの気持ちで過去問を解いてみたもの

を、天主堂を訪れたときに初めて知りました。「まちあるき」を通じて長崎の歴史にまつわる数々のエピソードに触れたことを機に「地元長崎のことについてもっと知りたい!」と思い、「長崎検定」1級合格を目指すようになりました。

級合格を目指すつもりが過去問を目にして呆然。本番さながらの気持ちで過去問を解いてみたもの、幅広い試験範囲と難易度の高い問題に圧倒され、そのときの實力では全く太刀打ちできませんでした。それでも何とか時間を作って勉強を続けるも、初の1級受験は實力不足が響き不合格。この結果に一時はかなり落ち込みましたが、次こそは絶対合格しようと再チャレンジを決めました。

まず、この時点では方言以外の内容はほとんど知らない状態。そこで、書店や図書館で資料を探したり、テキストを繰り返し読んだり、過去問を解いたりしました。勉強を重ね、2級と3級を受験し

しかし、1級の問題は一筋縄ではいきません。合格するためにどう勉強するか熟考し、何度も長崎へ足を運び、「まちあるき」をする時間を増やそうと決めました。まだ訪れたことがなかった場所に行ったり、「長崎くんち」や「竹ん芸」などの伝統行事をみたり・・・勉強を続けるうちに学びの幅が広がり、勉強することの楽しさ、面白さを再認識するようになりました。また、友達や知人に長崎のまちを案内する楽しみも生まれ、このこと

た結果は、努力が実り両方とも合格することができました。

そして、2017年1月の検定当日。解答に苦戦する問題がいくつかあったものの、確かな手応えを感じ、1級受験を終えました。約2カ月後に届いたその結果は、見事合格! 喜びのあまり、思わず「よっしゃ!」と声をあげました。家族や友達、知人からのお祝いメッセージも本当にうれしかったです。

た結果は、努力が実り両方とも合格することができました。

検定1級に合格し、長崎を案内する楽しみがさらに広がっています。これからも、学びの中で得た知識だけでなく、自分自身が考える長崎の魅力を伝え続けていきます。



【プロフィール】

1989年生まれ。長崎市出身、佐世保市在住。「まちあるき」がきっかけで、「長崎検定」の勉強をスタート。「最近、友人や知人に長崎を案内する機会が増えつつあり、テーマやコースを自分で考えてまちを案内することもあります。個人的におすすめの場所は、風頭公園です」